

新薬価基準収載品目

(株)ほくやく DI室

平成29年8月29日 官報告示(8月30日適用)

Tel 011(611)1099

分類	メーカー	商品名	成分名	規格	薬価(円)	効能・効果	用法・用量	包装	発売日
抗ウイルス剤	マルホ	アメンアリーブ錠 200 mg [処] [87625] 6250046F1028	アメンメビル	200 mg 1錠	1,469.70	《抗ヘルペスウイルス剤》 帯状疱疹	成人： 1回400 mgを1日1回食後に経口投与。	PTP 14T	9月7日
他に分類されない代 謝性医薬品	日本イーライリリー	オルミエント錠 2 mg [劇] [処] [873999] 3999043F1020	バリシチニブ	2 mg 1錠	2,694.60	《ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤》 既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)	成人： 4 mgを1日1回経口投与。 患者の状態に応じて2 mgに減量。	PTP 30T	9月1日
		オルミエント錠 4 mg [劇] [処] [873999] 3999043F2026		4 mg 1錠	5,223.00			PTP 30T	
糖尿病用剤	田辺三菱製薬 = 第一三共	カナリア配合錠 [処] [873969] 3969106F1028	テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物 / カナグリフロジン水和物	1錠	300.30	《選択的 DPP-4 阻害剤 / SGLT2阻害剤 配合剤 - 2型糖尿病治療剤 - 》 2型糖尿病 ただし、テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物及びカナグリフロジン水和物の併用による治療が適切と判断される場合に限る。	成人： 1日1回1錠を朝食前又は朝食後に経口投与。	PTP 100T	9月7日
精神神経用剤	アステラス製薬 = 共和薬品工業	ビプレッソ徐放錠 50 mg [劇] [処] [871179] 1179042G1025	クエチアピン フマル酸塩	50 mg 1錠	71.00	《双極性障害のうつ症状治療薬》 双極性障害におけるうつ症状の改善	成人： 1回50 mgより投与を開始し、2日以上の間隔をあけて1回150 mgへ増量。その後、さらに2日以上の間隔をあけて、推奨用量である1回300 mgに増量。いずれも1日1回就寝前とし、食後2時間以上あけて経口投与。	PTP 100T バラ 100T	10月27日
		ビプレッソ徐放錠 150 mg [劇] [処] [871179] 1179042G2021		150 mg 1錠	188.60			PTP 100T バラ 100T	

***商品名欄記載事項**

[規制区分]、[日本標準商品分類番号]、薬価基準収載医薬品コード(厚生省コード)：英数12桁
[処]：処方箋医薬品…医師等の処方箋により使用すること。 発売日：前後する場合もあり。

参考資料：薬事・食品衛生審議会 薬事分科会資料
製品添付文書 他

新薬価基準収載品目

(株)ほくやく D I 室

平成29年8月29日 官報告示 (8月30日適用)

Tel 011(611)1099

分類	メーカー	商品名	成分名	規格	薬価(円)	効能・効果	用法・用量	包装	発売日
血液製剤類	CSL ベーリング	ケイセントラ静注用 500 [特生] [処] [876343] 6343449D1024	人プロトロン ビン複合体	500 国際単位 1 瓶 (溶解液 付)	35,004	≪血漿分画製剤(静注用)プロトロンビン複合体製剤≫ ビタミンK拮抗薬投与中の患者における、急性重篤出血時、又は重大な出血が予想される緊急を要する手術・処置の施行時の出血傾向の抑制	別表の投与量を単回静脈内投与。(別表省略)	1ﾊﾞｲﾙ (日局注射用水 20mL×1ﾊﾞｲﾙ、薬 液用両刃針添付)	9月19日
		ケイセントラ静注用 1000 [特生] [処] [876343] 6343449D2020		1,000 国際単位 1 瓶 (溶解液 付)	65,225			1ﾊﾞｲﾙ (日局注射用水 40 mL×1ﾊﾞｲﾙ、薬 液用両刃針添付)	
代謝拮抗剤	ムンディファーマ	ジフォルタ注射液 20 mg [劇] [処] [874229] 4229404A1027	プララトレキサート	20 mg 1mL1 瓶	89,632	≪抗悪性腫瘍剤≫ 再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	成人： 1日1回 30 mg/m ² (体表面積)を3～5分間かけて、週1回、静脈内投与。これを6週連続で行い、7週目は休薬。これを1サイクルとして、投与を繰り返す。患者の状態により適宜減量。	1ﾊﾞｲﾙ	8月30日
経系用薬 その他の中枢神	バイオジェン・ジャパン	スピラザ髄注 12mg [処] [87119] 1190403A1022	ヌシネルセンナトリウム	12 mg 5mL1 瓶	9,320,424	≪脊髄性筋萎縮症治療剤≫ 乳児型脊髄性筋萎縮症	1回につき、別表の用量を投与。初回投与後、2週、4週及び9週に投与し、以降4ヵ月の間隔で投与を行うこととし、いずれの場合も1～3分かけて髄腔内投与。(別表省略)	1ﾊﾞｲﾙ	8月30日

*** 商品名欄記載事項**

[規制区分]、[日本標準商品分類番号]、薬価基準収載医薬品コード(厚生省コード)：英数12桁
[処]：処方箋医薬品…医師等の処方箋により使用すること。 発売日：前後する場合もあり。

参考資料：薬事・食品衛生審議会 薬事分科会資料
製品添付文書 他